

《就職率91.1%》

平成21年度大学等卒業者の就職状況等について

【公表の目的】

岐阜労働局では、大学生・短大生等（以下「学生」という。）の厳しい就職環境が続いていることを踏まえ、大学・短大（以下「大学等」という。）と連携を図りながら様々な就職支援を行っていくとともに、大学等の協力のもと企業の方々に厳しい現状を積極的に発信することにより、更なる求人の提出・採用枠の拡大等の働きかけを行うこととした。

【就職内定状況の推移】

県内の大学等の平成22年3月卒業者の3月末現在の状況について、就職率は91.1%で前年同期に比べ2.4ポイントの低下となり、採用内定開始時期の10月では50%に充たない状況であったものが、

学生の積極的な就職活動

各大学等による就職セミナーの開催

ハローワークヤングスポット岐阜に配置した大卒就職ジョブサポーターと大学等との連携による様々な就職支援

岐阜労働局・岐阜県・岐阜県学生就職対策連絡協議会の連携による合同企業説明会の開催
就職セミナー、合同企業説明会の開催に当たって、事業主からの積極的な求人提出

などの各種施策及び事業主の協力等により就職内定者数が増加した、一方、求人数の大幅な減少により就職から進学に切り換えたり、正規雇用による就職をあきらめてアルバイトによる就労でよいとする学生が増加し、就職希望者数は減少したため、前年度を若干下回る程度に止まった。

【未就職卒業生への支援等】

就職先が決まっていない学生（以下「未就職卒業生」という。）は386人（平成22年3月末現在）で、前年同期の292人に比べて32.2%増加していることを踏まえ、大学等では、未就職卒業生への就職支援を引き続き行っていくとともに、各ハローワークにおいても大卒就職ジョブサポーターを活用し、大学等と連携を図りながら、未就職卒業生への様々な支援策の活用も併せた就職支援を実施している。

【平成23年3月新規大学等卒業生への対策】

平成22年度の就職環境についても、引き続き厳しいとの声も聞かれるため、岐阜労働局では岐阜県・岐阜県学生就職対策連絡協議会との共催による合同企業説明会の開催、また、ハローワークの大卒就職ジョブサポーターを活用し、大学等への積極的な訪問により求人情報の提供、学生との個別職業相談、あるいは面接指導等様々な支援を実施することとしている。

1 就職状況等の概要について

【大学・短大】(別添の【表1】参照)

- (1) 卒業予定者数は、5,573人で前年同期に比べ1.9%減少。
 - (2) 就職希望者数は、4,313人で前年同期に比べ4.3%減少。
 - (3) 就職者数は、3,927人で前年同期に比べ6.8%減少。
 - (4) 未就職卒業生数は、386人で前年同期に比べ32.2%増加。
 - (5) 就職率は、91.1%で前年同期に比べ2.4ポイント低下。
- 《参考》平成21年3月末の就職率は、93.5%であった。

【大学】(別添の【表2】参照)

- (1) 卒業予定者数は、3,891人で前年同期に比べ8.6%増加。
 - (2) 就職希望者数は、2,934人で前年同期に比べ7.1%増加。
 - (3) 就職者数は、2,655人で前年同期に比べ4.0%増加。
 - (4) 未就職卒業生数は、279人で前年同期に比べ48.4%増加。
 - (5) 就職率は、90.5%で前年同期に比べ2.6ポイント低下。
- 《参考》平成21年3月末の就職率は、93.1%であった。

【短大】(別添の【表3】参照)

- (1) 卒業予定者数は、1,682人で前年同期に比べ19.8%減少。
 - (2) 就職希望者数は、1,379人で前年同期に比べ21.9%減少。
 - (3) 就職者数は、1,272人で前年同期に比べ23.5%減少。
 - (4) 未就職卒業生数は、107人で前年同期に比べ2.9%増加。
 - (5) 就職率は、92.2%で前年同期に比べ1.9ポイント低下。
- 《参考》平成21年3月末の就職率は、94.1%であった。

この調査は、岐阜県内の大学等23校が、学生からの報告等により把握している状況等について、大学等の協力を得て岐阜労働局が把握し取りまとめたものです。

なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は、抽出調査として実施しており、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

2 大学・短大別の就職状況等について

(1) 大学

就職率が低下した要因は、求人の減少により進学に切り換える学生が見受けられたものの、平成18年度に開学した大学の卒業生が平成21年度(平成22年3月卒業生)で卒業を迎えたことにより、これを上回る就職希望者があったため就職希望者数は増加し、これに伴う就職者数も増加となっているが、就職率では東海地区の企業からの求人の減少が影響し、前年度を若干下回る結果となった。

未内定の学生を対象として、平成22年3月に県内企業での学生等のインターンシップを実施し、その後、その企業に採用となった学生もいた。

(2) 短大

就職希望者数の減少は、卒業予定者数が減少したことも一因となっている。

就職率が低下した要因は、事務・営業関係の求人減少より就職者数が減少した一方、専門職養成の短大では、前年度を上回る就職率となっているという意見も聞かれること、また、平成20年度で閉学した短大があったことや専攻課程の学年延長が行われ、就職希望者数が減少したことなどから、就職率は前年度に比べて若干下回る結果となった。

《平成23年3月新規卒業生への就職支援策等》

- 1 岐阜労働局では、県内企業に学生等とのマッチングの機会を提供する合同企業説明会等を開催する。
- 2 ハローワークヤングスポット岐阜では、新規学校卒業生の円滑な就職を支援するため、以下の就職支援策等を実施する。

- (1) 配置した大卒就職ジョブサポーターを活用し、県内の大学・短大等を訪問等し、主に、就職未内定者に対する求人情報の提供や就職希望者に対して状況に応じて個別職業相談を実施する。
- (2) 来所する学生に対して、学生就職支援システムを活用し全国の求人情報の提供や個別の職業相談を実施する。
また、未就職卒業生に対しては、未就職卒業生向け支援策（職業訓練・新卒者体験雇用・トライアル雇用等）の活用を促し支援を行っている。
- (3) 就職面接会の開催等を通じたマッチングの促進を図る。

(参 考)

- 1 就職希望者数は、大学・短大等又はハローワークの紹介により就職を希望する学生の状況を取りまとめたものである。
- 2 平成23年3月大学等卒業生の採用内定開始時期は、「大学卒業予定者・大学院修士課程修了予定者等の採用選考に関する企業の倫理憲章」において、次のとおり定められている。
・大学・短大等 平成22年10月1日以降

3 調査時期及び発表時期

【調査時期】	【発表時期】
10月1日	11月中旬
11月末	1月中旬
1月末	3月中旬
3月末	5月中旬

新規大学・短大等卒業者の就職状況(岐阜県)

(大学・短大)

【平成22年3月末現在】

【表1】

平成20年度 (平成21年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	就職者数	未就職卒業者数	就職率(%)
	5,681	4,506	4,214	292	93.5
平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	就職者数	未就職卒業者数	就職率(%)
	5,573	4,313	3,927	386	91.1
対前年度比(%, P)	1.9	4.3	6.8	32.2	2.4

(大学のみ)

【平成22年3月末現在】

【表2】

平成20年度 (平成21年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	就職者数	未就職卒業者数	就職率(%)
	3,584	2,740	2,552	188	93.1
平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	就職者数	未就職卒業者数	就職率(%)
	3,891	2,934	2,655	279	90.5
対前年度比(%, P)	8.6	7.1	4.0	48.4	2.6

(短大のみ)

【平成22年3月末現在】

【表3】

平成20年度 (平成21年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	就職者数	未就職卒業者数	就職率(%)
	2,097	1,766	1,662	104	94.1
平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	就職者数	未就職卒業者数	就職率(%)
	1,682	1,379	1,272	107	92.2
対前年度比(%, P)	19.8	21.9	23.5	2.9	1.9

上記就職状況は、各年度における最終の数値である。

公表については、平成22年3月卒業者の平成22年3月末現在(前年同期の就職状況も含む)から集計を開始した。